

TIMEX® 社製の腕時計をお買い上げいただきありがとうございます

Timex® 腕時計をご使用の際は、取り扱い説明書をよくお読みください。お買い上げのモデルによっては、この取扱説明書に記載されているすべての機能が備わっていない場合があります。

各部名称



機能

時間の表示、日付の表示、3気圧防水

防水性・耐水性

ケースもしくは裏ぶたに防水表示のあるモデルに限ります。防水表示をご確認の上、使用可能範囲にそってご使用ください。表示のないモデルは非防水性です。メーテル表示が無く「Water Resistance」のみの表記の場合は、「30M・3気圧」に相当します。

◎30M・3気圧→日常生活防水
水中でのご使用は不可能です。
雨・手洗いの際の水しぶきに耐えうる程度の防水性です。

操作方法

①ゼンマイの巻き上げ

腕時計をスタートさせるには、リューズをAの位置に押し込んだ状態にします。

リューズを時計回りにゆっくり回しゼンマイを巻き上げ、全巻きにします。(リューズを約40回転させると全巻になります)

※時計を付けている間、手首の動きによって巻き上げ機構は自動的に作動しますが、時計の精度を保つためには、着用の際にその都度ゼンマイをある程度巻き上げて頂く必要があります。

②時刻合わせ

リューズをCの位置まで引き出し、針を現在の時刻に合わせリューズを押し込みます。日付表示に対応しているモデルですので、午前と午後の正しい設定になるよう調整してください。

※こちらのモデルはハック機能がついておりませんので、リューズを引いても秒針は進み続けます。

※針を時計回りに進めて時刻を合わせた場合、そのままリューズを押し込むと、歯車の噛み合わせにより針の位置がズれる事があります。その場合は、針を設定したい時刻よりも10分ほど進めた位置から戻して合わせるとズレにくくなります。

③日付合わせ

リューズをBの位置まで引き出し、リューズを反時計回りに回して正しい日付にします。

日付は午後9時～午前1時の間に変わります。故障の原因となりますので、この時間帯に日付を設定しないでください。

時計が止まってしまった場合は、手順①～③に従って操作してください。

防水機能についてのご注意

- 防水機能は、ケース、ガラス、リューズ、ボタン、パッキンなどが正常な状態でのみ維持されます。従って、経時変化によってこれらの部分が老朽化した場合は、耐水性も退化しますのでご注意ください。
- 水中や水分が付着したままの状態ではケース内に浸水する恐れがありますので、リューズ、プッシュボタンなどを作動させないでください。
- ダイバー向けの防水時計ではありませんので、ダイビングにはご使用にならないでください。
- 防水であっても入浴中のご使用はお避け下さい。
- シャワーや蛇口からの水圧は、高水圧の恐れがありますのでお避け下さい。
- 防水機能を超えたご使用による故障の場合は、特別な場合を除き有償修理対応となります。